

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：6/1～6/5

・ 6/1(月)

黒川杯、野党が「給付金」受注団体の中抜きを追及。アベノマスクなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、黒川杯については他の放送日との比較が必要と考えられるものでした。なお、黒川杯については検証者の所感を記しました。

・ 6/2(火)

持続化給付金、外国人留学生への給付金、韓国が WTO 提訴手続きを再開、茂木外務大臣の韓国の措置へのコメント、黒川氏の賭け麻雀などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、持続化給付金については他の放送日との比較が必要と考えられるものでした。また、持続化給付金および黒川氏の賭け麻雀については検証者の所感を記しました。

・ 6/3(水)

新型コロナと経済対策、三重県で LGBT 関連の条例の方針、ロシアが核兵器指針を初公開、香港と国家安全法、厚労省が学生の臨時採用を各省庁に要請などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、新型コロナと経済対策については他の報道日との比較が必要と考えられるものでした。また新型コロナと経済対策については検証者の所感を記しました。

・ 6/4(木)

香港問題、第二次補正予算案の予備費、麻生財務大臣「国民の民度のレベルが違う」などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、第二次補正予算案の予備費については他の報道日との比較が必要と考えられるものでした。また、第二次補正予算案の予備費、麻生財務大臣「国民の民度のレベルが違う」については検証者の所感を記しました。

・ 6/5(金)

横田滋さん死去、持続化給付金、第二次補正予算案の予備費、GoTo キャンペーン、麻生財務大臣が「民度のレベルが違う」との発言を釈明などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。また、横田滋さん死去については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年6月1日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 松本哲哉（国際医療福祉大学教授）</p>		
<p>検証テーマ：黒川杯、野党が「給付金」受注団体の中抜きを追及。アベノマスク</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新着】 コロナ収束を願い全国で一斉シークレット花火 ・東京ステップ2 ・新しい日常 ・「第2波」の懸念 ・黒人男性暴行死を受けて“戦争地帯”全米40都市で「夜間外出禁止令」 ・黒川杯 ・USJ が段階的再開 ・ディズニーは臨時休業継続 ・野党が「給付金」受注団体の中抜きを追及 ・アベノマスク ・スポーツ報道 ・東京都で新たに13人の新型コロナウイルス感染 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川杯：結論→他の放送日との比較が必要 <p>小川キャスターの「共同通信の世論著差では処分が甘いと答えた方が78%に登りました。」と山本キャスターの「賭け麻雀で辞職した東京高検の黒川前検事長への訓告処分、納得の行かない市民が企画した抗議のイベント黒川杯とは。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられた。</p> <p>”小崎亮輔（報告）「こちら検察庁前の路上なんですけれども集まった人たちと警察官が航路運になっています。」</p> <p>警察「ダメですやめなさい。道路上で麻雀はできませんから。やめて下さい。」</p> <p>ナレ「ボードには黒川はいテンピン麻雀大会の文字、これは辞職した黒川前検事長の処分について疑問を持つ人達がネット上で呼びかけた麻雀大会です、掛け金のレートは1000点100円のいわゆるテンピン、黒川氏が新聞記者らと賭け麻雀をしていたときと同じレートです。」</p> <p>警察「道路交通法違反になりますから移動して撤収して下さい。」</p> <p>ナレ「警察は道路交通法違反に当たるとして麻雀大会の参加者たちを近くの公演まで移動させました。」</p> <p>ナレ「大会の主催者は。」</p> <p>主催者「ちゃんとお金の遣り取りをするところをバッチリ収めるつもりでいました、でもまあできなかったの。」</p> <p>記者「捕まっちゃうことも可能性としてはある。」</p> <p>主催者「まあありますけれども、まあそうしたらやっぱり法の下での平等なんてなかったんだということになりますから。」</p>		

主催者「黒川さんはいいのに俺たちはなんでダメ何だよっていいのはいいたいですね。」

ナレ「賭博罪という犯罪にも該当する賭け麻雀。しかし黒川氏は今回国家公務員法の懲戒ではなく法務省の内規に基づく訓告というより軽い処分となりました。その理由の一つを法務省はこう説明しています。」

"川原隆司（法務省刑事局長）「レートはいわゆるテンピン、賭け麻雀は許されるものではございませんが、まあ社会の実情を見ましたところ必ずしも高額とまでは言えないレートでやったと。」

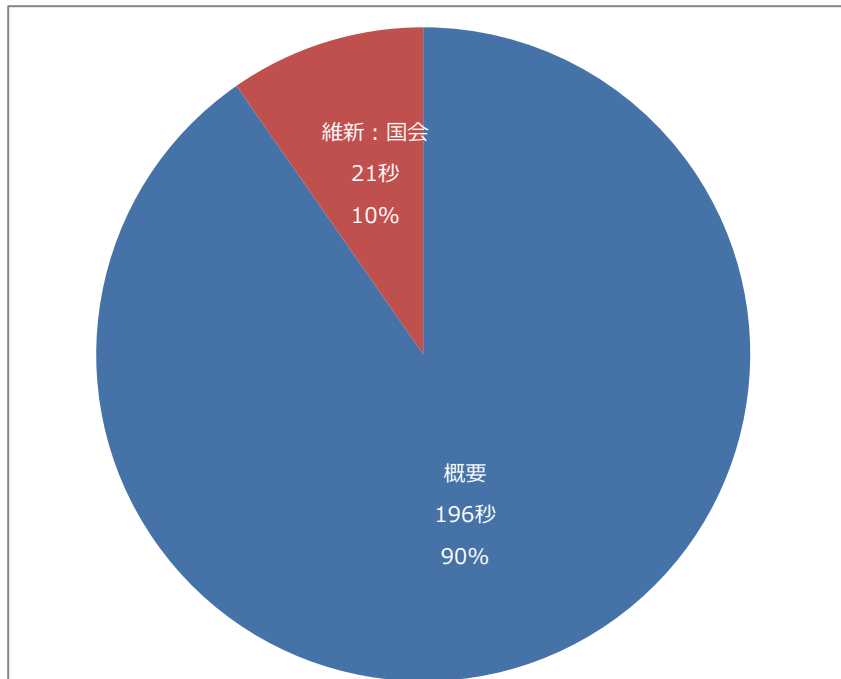
ナレ「一回の勝負は最大で2万円ほどだったという黒川氏の賭け麻雀。国会ではこんな指摘も。」

"鈴木宗男（日本維新の会参院議員）「世間では2万円までは賭け麻雀やってもセーフだというのが今の国民の受け止めです、そういうことで2万円までは賭博罪に当たらない、という受け止めでよろしいですね。」

川原隆司「犯罪の成否は捜査機関が収集した証拠によって判断することがありますので、私からはご答弁を差し控えさせていただきます。」

ナレ「誰が賭け麻雀をやったのかによって、罰則や処分が変わってしまう可能性はないのか、明確な説明が求められています。」

このトピックに当てられた時間は217秒で放送法上は特に問題は見られなかった。



今回国会審議は維新の会のみが取り上げられていた。他の放送日との比較が必要と考える。

- ・野党が「給付金」受注団体の中抜きを追及：結論→特に問題なし

ナレーションによって「今日、野党が視察に訪れたのは広告最大手電通などが設立した一般社団法人、新型コロナの感染拡大を受けた政府の支援策、持続化給付金をめぐる業務を国から769億円で委託されています。その大部分を電通に749億円で再委託していたことから野党側は差額の20億円について中抜きではないかと追及しています、一方政府側は今日、振込手数料に15億6000万円などとする内訳を明らかにしました。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は43秒で放送法上は特に見られなかった。

・アベノマスク：

ナレーションによって「菅官房長官は新型コロナウイルス対策として政府が全世帯向けに配布している布マスクの契約総額が 260 億円となることを明らかにしました。これまで政府は経費の総額を 466 億円と見積もっていたことから大幅に圧縮されることとなります、また菅長官は先月 29 日の時点で布マスク 4800 万枚の配布が完了したことを明らかにしました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 34 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・黒川杯

維新の鈴木宗男参議院議員の質疑が取り上げられていたが、やはり鈴木議員自身、検察に対しては思うところや不信感というものがあるのだろうか、気になるところである。

また黒川杯について「掛け金のレートは 1000 点 100 円のいわゆるテンピン、黒川氏が新聞記者らと賭け麻雀をしていたときと同じレートです。」とナレーションが説明していたが、「いわゆるテンピン」などと紹介される程度には「テンピン」というレートが人口に膾炙しているものなのだというのが垣間見えた。

「いわゆる」というのは通常その後ろに続く言葉は人口に膾炙しているものが続くものであり、「テンピン」という言葉が多くの視聴者にとって馴染みのない言葉とテレビ局が認識しているのであるならば「いわゆるテンピン」などという表現は出てくるはずのないものである。

いくら番組中で黒川氏を批判していても、今回こうした「テンピン」というレートが「いわゆるテンピン」として紹介された事自体、TBS や NEWS23 のスタッフたちの間では 1000 点 100 円の賭け麻雀というのは社会通念上許され得る相場だと認識していることを物語っているのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年6月2日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 和田浩耕治（国際医療福祉大学教授、公衆衛生学）</p>		
<p>検証テーマ：持続化給付金、外国人留学生への給付金、韓国が WTO 提訴手続きを再開 茂木外務大臣の韓国の措置へのコメント、黒川氏の賭け麻雀</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京アラート ・唾液 PCR 検査が今日から可能に ・医療物資の国産化への動き ・持続化給付金 ・アメリカ全土に広がる暴動 ・外国人留学生への給付金 ・韓国が WTO 提訴手続きを再開 ・茂木外務大臣の韓国の措置へのコメント ・黒川氏の賭け麻雀 ・荒川河川敷にシカの迷い子 ・スポーツ報道 ・【速報】金崎夢生選手の新型コロナ感染 ・初の東京アラート発動 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>・持続化給付金：結論→特に問題なし</p> <p>小川キャスターの「さて、続いてのニュースに参ります、感染拡大で影響を受けた事業者への給付金をめぐるところの問題です。」とのコメントおよび山本キャスターの「支給の実務を政府から委託された団体が業務の大部分を広告最大手の電通などに再委託していたことが分かりました。野党は丸投げではないかと追及しています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。</p> <p>"酒井敏男（持続化給付金を申請中）「もう一ヶ月以上経っていますので、まあ非常に困っていますね。」</p> <p>ナレ「食品コンサルタント業のこの男性は持続化給付金の申請開始の初日、5月1日に申請をしましたが、今も振り込まれていないといいます。すると、取材中に一本の電話が。」</p> <p>酒井敏男「急いでいただけますか。」</p> <p>ナレ「電話の相手は持続化給付金のコールセンターでした。」</p> <p>酒井敏男「うん、もし、大至急で処理してくださいね。はい失礼します。」</p> <p>ナレ「担当者から振り込みの期日は伝えられませんでした。」</p> <p>酒井敏男「もう限界ですね、はい、あの、持続化という給付金なんですけれども、全然持続できないですね。」</p>		

ナレ「新型コロナウイルスの影響で収入が半減した企業に最大 200 万円、個人事業主に 100 万円を支給する持続化給付金。この給付金をめぐり政府から業務委託を受けた団体の実態が不透明だと指摘されています。今回政府はサービスデザイン推進協議会に 769 億円で業務委託を行いました。そこから、広告最大手、電通におよそ 749 億円で再委託されていたのです。経済産業省が野党ヒアリングに提出した資料によるとほぼ大部分を委託された電通がさらに自らの関連会社 5 社に外注していることが分かりました。協議会が得た差額のおよそ 20 億円は中抜ではないか、などの批判が強まる中。昨日野党議員は都内にあるサービスデザイン推進協議会をたずねました。この協議会、実は電通や人材サービス大手のパソナなどが関わったものなのです。業務に追われていても良いはずの事務所には誰もいないようです。」

野党議員「これじゃしょうがないですよ。」

ナレ「野党の追及は今日も続きました。」

小沼巧（立憲民主党参院議員）「サービスデザイン推進協議会は何をコーディネートしているのか、他の電通等々とのコーディネーション業務とどうデマケが起きているのか。」

ナレ「国会で協議会と再委託先の電通との役割分担について質した野党側。」

経産省中小企業庁「サービスデザイン推進協議会でございますけれども今回の事業の振り込みの関連業務と事業全体の工程管理というのを行っています。」

ナレ「経済産業省は協議会が給付金の振り込みを行い、電通側が申請の審査や広報をになっていると説明しました。また、協議会の従業員は電通やパソナなど 10 社から出向した合計 21 人、野党がわが行ったヒアリングでは出向元の企業についてこんな質問が。」

"渡部周（国民民主党衆院議員）「例えば株式会社テー・オー・ダブリューって知らないんだけど、まあちょっといま調べたらですねトップ・オブ・ザ・ワールドの略だそうなんです、イベント会社ですよ、金融に長けているという人はどこにいるのか。」

経産省の担当者「確認をいたします。」

渡部周「そんな基礎的なこともわからないところになぜこう 770 億円もの金がですね、大金が委託できるのかと。」

"ナレ「では、いったいなぜ、政府は電通に直接委託しなかったのでしょうか。」

梶山弘志（経産相）「過去に電通がですね、直接補助金等の交付事務を受託した際に、電通から個々の事業者に公的資金が振り込まれるような形になるわけですね、問い合わせが集中したということもあって、過去に電通さんからは電通さんは直接受託しないことを原則している、原則としているということを聞いております。」

ナレ「と、述べ再委託に問題はなかったとの認識を示しました。ただ国会ではこんな指摘も。」

福島みずほ（社民党党首）「97%電通に委託しているわけで、これほとんど全部を第三者に委託じゃないんですか、トンネル会社じゃないですか。」

ナレ「野党側は経産省のガイドラインで禁止されている全部再委託に当たるのではないかと追及しましたが、経産省はきちんとヒアリングしたなどとして問題はないと認識を示しました。」

経産省中小企業庁「持続化給付金、先程大臣からご紹介があった通り、150 万件以上の申請を受けて、今日までに 100 万件 1 兆 3400 億円をお届けしていると、事業者としての責任は十分果たしているというふうに我々は評価しています。」

ナレ「しかし野党は資金の流れが不透明だとして引き続き国会などで追及する方針です。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返され広がられた。

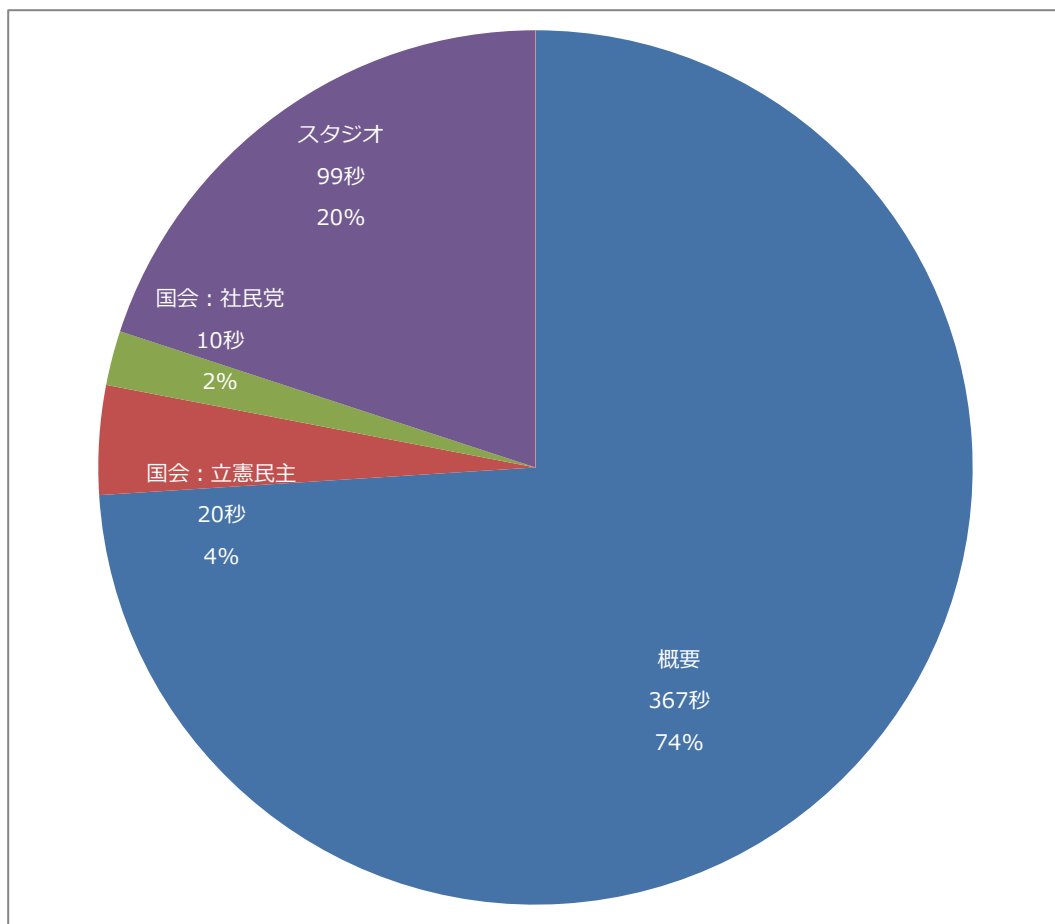
小川彩佳「何が問題視されているのか改めてここで確認します。山本さん。」

山本恵里伽「はい、売上が大幅に減少した中小企業などに最大で 200 万円が支給される持続化給付金についてです。経済産業省はその給付の振込手続きなどの業務をサービスデザイン推進協議会という民間の団体に 769 億円で委託しました。このサービスデザイン推進協議会は広告最大手の 749 億円で再委託しました。この 769 億円と 749 億円と差額 20 億円が中抜ではないか、税金の無駄遣いだと批判の声が高まっています。」

小川彩佳「コロナで疲弊している中小企業の皆さんにとっては命綱となっているこの持続化給付金事業ですけれども、星さん、色々とはっきりしないことが多いですね。」

星浩「そうですね、不明瞭な点が二重にあると思いますね。一つはね、この協議会からほぼ丸投げされている経緯ですよ、なんでこういうことをやらないといけないのか。20 億円を残してですね。もう一つは契約した協議会が全体のいろんな説明をしなければいけないんですけども責任者はもういない、説明もできないという状況になっているということなんですね、これはそのコロナ危機で計上された巨額な予算から支出されるわけで元はと言えば、我々が払う税金なわけですから無駄遣いは絶対に許されないと考えますね。」

このトピックに当てられた時間は 496 秒で、時間配分及び比率は以下に朱記したとおりであった。



放送法上の評価は他の放送日との比較が必要と考える。

・外国人留学生への給付金：結論→特に問題なし

山本キャスターの「新型コロナ対策として新たに創設される給付金について厚生労働省は外国人留学生についても給付の対象に含めるとしました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"外国人留学生 A「私達が例えばお金の問題を自分でなんとか解決したくても限界があるから」

ナレ「新型コロナウイルスの影響でアルバイトの収入が減った外国人留学生が八百津のヒアリングで苦しい現状を訴えました。出席した厚労省の担当者が休業手当を受けられなかった労働者向けの新たな給付金について留学生も対象に含めることも明らかにしました。ヒアリングでは文部科学省の別の給付金で成績などの条件をつけたことに批判が集中しましたが、文部科学省側は留学生は通っている学校に相談してほしい、と応えるにとどまりました。」 "

このトピックに当てられた時間は 62 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・韓国が WTO 提訴手続きを再開：結論→特に問題なし

ナレーションによって「韓国は日本が去年 7 月から実施している韓国への輸出管理の強化をめぐり暫定的に停止していた WTO への提訴手続きの再開を決めました。韓国は日本に対し先月末までに撤回に向けた立場表明を求めていましたが、期待した回答がえられなかったとし、日本政府は問題解決の石を見せていないと批判しています。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・茂木外務大臣の韓国の措置へのコメント：結論→特に問題なし

韓国の措置への茂木大臣のコメントについて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"茂木敏充（外相）「輸出管理当局間ですね。対話が継続してきたにもかかわらず、韓国側が一方的にかかる発表を行ったことは遺憾である。」

ナレ「茂木外務大臣が韓国政府の対応について一方的な対応は遺憾だと述べました。輸出管理の見直しについては輸出管理制度の整備や運用実態に基づいて行われるべきだという考えに変わりはないと強調しました。」 "

このトピックに当てられた時間は 33 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・黒川氏の賭け麻雀：結論→特に問題なし

黒川氏の賭け麻雀について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"デモ「麻雀賭博は許さないぞ。」

ナレ「賭け麻雀で辞職をした東京高検の黒川弘務前検事長について元大学教授らで作る市民団体が東京地検に告発状を提出しました。常習的に賭け麻雀を繰り返してきたことは違法性が高く、極めて悪質と指摘し、常習賭博罪に当たると指摘しています。」 "

このトピックについて当てられた時間は 28 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 持続化給付金

スタジオで星キャスターが「不明瞭な点が二重にあると思いますね。一つはね、この協議会からほぼ丸投げされている経緯ですよ、なんでこういうことをやらないといけないのか。20億円を残してですね。もう一つは契約した協議会が全体のいろんな説明をしなければいけないんですけども責任者はもういない、説明もできないという状況になっているということなんです、これはそのコロナ危機で計上された巨額な予算から支出されるわけで元はと言えば、我々が払う税金なわけですから無駄遣いは絶対に許されないといいますね。」とコメントしていた。「元はと言えば、我々が払う税金なわけですから無駄遣いは絶対に許されない」というのはまったくもってそのとおりでと思う。しかし、この理屈を突き詰めていけば、この恩恵を受けないサラリーマンにとっては今回の持続化給付金そのものが全くの無駄遣いと言えるし、そうでなくとも、そもそももともとが税金だということであれば、一旦お上が召し上げて配るというプロセスそのものが無駄であり、最初から税金を取らない、減税のほうが遥かに効率的だと言えやしないだろうか。

・ 黒川氏の賭け麻雀

今回、声を上げていたのは元大学教授らで作る市民団体であった。若い世代の人たちからは全くピンとこないかもしれないが、彼らが現役の時代では「賭け麻雀」と言えばそれが額面通りの賭け麻雀であったこともあれば、賭け麻雀という形式での実態は裏金のやり取りということもあったわけである。

今回の黒川前検事長の疑惑も、純然たる「賭け麻雀」と見ているのか、それとも裏金の授受の隠語としての「賭け麻雀」と見ているのか、年配の世代がどう見ているのかは気になるところである。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年6月3日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：新型コロナと経済対策、三重県で LGBT 関連の条例の方針、ロシアが核兵器指針を初公開、香港と国家安全法		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巨人の坂本と大城が新型コロナ陽性 ・東京アラート ・新型コロナと経済対策 ・全米デモで厳戒態勢 ・イタリアで EU からの入国解禁 ・韓国のコロナ商機で検査ブースが盛況 ・ユニクロが原宿にアプリとも連動した世界初の売り場 ・覚醒剤密輸で男女 5 人を逮捕 ・京アニ放火殺人事件で京都地検が鑑定留置請求へ ・三重県で LGBT 関連の条例の方針 ・ロシアが核兵器指針を初公開 ・東京河川敷でのシカ捕獲作戦 ・国家安全法と香港 ・スポーツ報道 ・厚労省が学生の臨時採用を各省庁に要請 ・ 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナと経済対策：他の放送日との比較が必要 <p>小川キャスターの「さて、続いてなんですが、この新型コロナの経済対策として支給される給付金の問題です。」との発言および山本キャスター「はい、コロ関連の給付金はまず 1 人一律 10 万円が支給される特別定額給付金があります。そして今、問題となっているのが自粛などで仕事がなくなった、減った事業者などに最大で 200 万円が支給される持続化給付金です。10 万円の方はですね、全国の自治体が主体となって支給業務にあたっているんですけども、こちらの持続化給付金については給付事業に関わる業務がまるごとある民間団体に委託されていました。それがサービスデザイン推進協議会という社団法人です。事業規模は 769 億円です、この実態がよく知られていないサービス推進協議会なんですが、その業務の殆ど 749 億円を大手広告会社の電通に再委託しているんです、ではこの差額の 20 億円は一体何に使われているのか、そもそもこのサービスデザイン推進協議会とはどんな団体なのか、理事長を直撃しました。」の発言を受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。</p> <p>大串博志（立憲民主党衆院議員）「今回半端ない額なんですね 769 億円の委託費に対して 749 億円という 97%に</p>		

至る再委託、丸投げなんですよ。」

ナレ「半端ない額だと指摘されるのが経済産業省がサービスデザイン推進協議会に業務委託した持続化給付金の事務費 769 億円、これは政府が全世界向けに配布している布マスクの調達、配布コストの 3 倍です。一律 10 万円給付の事務費と比べると。」

大串博志「33 倍から現状は 50 倍しています、事務費が、なんでこんなにかかるんですか。」

"ナレ「今回の持続化給付金を想定される 200 万件に配った場合、事務費 769 億円をその件数で単純に割ると一件あたり 4 万円近くの事務費用がかかると試算、これは一律 10 万円給付と比べ、最大 50 倍にあたります。事務費用がなぜここまで膨れたのかということに、梶山経産大臣は。」

梶山弘志（経済産業相）「今回はウェブ申請に限定をしております、ウェブ申請に慣れていない方からどうするんだというお話もありました。」

ナレ「ウェブ申請になれない人をサポートするために人を配置し、お金がかかったと釈明しました。しかし、持続化給付金を巡ってはこれまで給付遅れや二重振り込みなどトラブルが相次いでいます、こちらは給付を申し込んだ人に届いたはがき。問い合わせ先としてこのサービス協議会の電話番号がありました。静岡県内の経営者は給付金を申し込んでから四週間近く振り込まれず、このコールセンターに進捗状況を問い合わせますが。」

会社経営者「200 回か 300 回かけて奇跡的に一回つながるかどうか、そういう状況でしたね、何を聞いても『わからない』『答えられない』『お待ち下さい』しか言わないので、これだけずさんなシステムでやられたら溜まったものじゃないですよ。」

ナレ「巨額な事業を託されたサービス協議会、一体どんな組織なのでしょう。インターネットで検索すると公式ホームページはありませんでした。では法人の登記情報を調べてみると設立は 4 年前の 2016 年。理事には電通や人材派遣大手のパソナの関係者などが就任していました。」

"記者「ええ、持続化給付金事業を担っている団体、こちらのビルにオフィスを構えています。このコロナ対策の重要政策を担う団体とは一体どのような組織なのか、これから訪ねてみようと思います。」

ナレ「経済産業書によりますと現在、協議会の職員は 21 人いるといいますが、」

記者「パッと見た感じ、中明かりがついていませんで、人の気配はしませんけれど、ちょっとノックをしてみたいと思います。今まさにですね、コロナ対策、最も重要な政策をですね、この団体が担っているわけですけども、このオフィスはいま誰もいないという状態になっています。」

ナレ「扉には不在を告げる張り紙が。」

張り紙「コロナ感染症対策の徹底及び強いご主張をされる申請者の直接来訪から職員を守るためリモートワークを行っている。」

ナレ「私達はサービス協議会の代表理事に話を聞くことができました。」

"記者「持続化給付金の事業を受託することになった経緯というのはどういうことなんでしょうか。」

笠原英一（サービスデザイン推進協議会代表理事）「4 月の時点であの、一応この受託するということを事後的に私は聞いているんです。」

記者「持続化給付金の責任を自分は負っているんだっていう自覚はお持ちですか？」

笠原英一「これね、あの、私はすみません、飾りです。」

ナレ「無報酬で代表理事を引き受けているという笠原氏、今月退任することが決まっていて、事業を請け負った

ことは後から知ったと言います。」

記者「あの、電話番号さえないという団体というのは中々。」

笠原英一「そこはまずいですよね、そこは改善しないといけないですね。」

記者「そうですね。」

笠原英一「本当にすみません。」

記者「そもそも説明しないためにこの団体があるんじゃないですか。」

笠原英一「それは違うと思います。それは違うと思います。説明の仕方があるいは重要性は認識していなかったということだと思います。」

ナレ「笠原氏はこの協議会のことを事業をコーディネートするプラットフォームだと表現しました。」

笠原英一「開発なら開発、生産なら生産、販売なら販売、得意な人にやってもらって、それをコーディネートするプラットフォームが大事なんですね、今回はだからプラットフォームでこんなに腕力を使ってできたというのはむしろね本来だったらこれ評価されたっていいんじゃないかと個人的には思います。」

ナレ「実態がつかめないサービス協議会、今回経済産業省から業務委託を受けたサービス協議会は 769 億円のうち、749 億円を電通に再委託しています、差額のおよそ 20 億円は中抜ではないかとの批判が上がっていましたが、その 20 億円は何に使われるのか。」

笠原英一「20 億残りますけども、実際、残るんじゃないんですよ。あれ、手数料で全部出てくるんで、後 1.5 くらいは人件費です。」

記者「不当な金、利益が団体に残る。」

笠原英一「それはね、全く無いです、それはね、ありえない、全く無いです。」 "

ナレ「経産省によりますと 20 億円の中には振込手数料などで 15.6 億円、振り込みに関わる専門人材の確保として 0.7 億円、また協議会の人件費として 1.7 億円などが含まれるとしています、しかしサービス協議会が行う実質的な業務は振り込み関連業務のみ、一方、申請受付から審査までの事務作業は全て電通がその子会社にさらに外注しています。」

"田嶋要（「立国社」会派衆院議員）「つまり事実上、全部委託しているんです。全部委託している、中身なにもないから、だから幽霊会社だって務まるんですよ。」

梶山弘志「資金全体の管理、まあそういったその振り込みの管理ということをサービス推進協議会でやらせていただいているということでございます。」 "

"ナレ「サービス推進協議会は振り込みの管理を行っている」と強調した梶山大臣、ほぼすべての業務が電通うに再委託されるのであれば、なぜ経産省は電通に直接委託しなかったのでしょうか。昨日、梶山大臣は。」

梶山弘志「振込元が電通さんだったりして、問い合わせが集中したということもあって、過去に電通さんからは電通さんは直接受託しないことを原則している、原則としていると聞いております。」

ナレ「電通名義では振り込みができないことを電通が直接受託できない理由としてあげました。改めて協議会と電通との関係を代表理事に聞いてみると。」 "

笠原英一「電通はなぜ直接受けなかったという話もあるのですが、電通さんって昔ちょっと悪いんですけども、いろいろこうなんかネガティブに見られるところがあったんですね、それを避けるために社団という中立的な客観的な組織を作って、エキスパートを組み合わせさせていくっていうそういうメカニズムで。」

ナレ「問題視された巨額の委託費、さらに政府は第二次補正予算案で今回の 769 億円に加えておよそ 850 億円を計上することが今日、明らかになりました。巨額の予算をめぐる追及は他にも。」

荒井聰（立憲民主党衆院議員）「GoTo キャンペーン、おかしいですよ。」

ナレ「野党が指摘したのは GoTo キャンペーン事業、コロナ収束後の消費を促すため、補助金を使って支援するというものです、国内旅行の費用の半額、最大 1 人 2 万円を補助するなど事業総額はおよそ 1 兆 7000 億円その中で問題視されているのは。」

荒井聰「事務経費がですね、全体経費の 2 割なんて、そんな事業ないですよ。」

ナレ「事務経費、つまりシステムの構築費や人件費等として最大で予算総額の 2 割、3000 億円を見込んでいるのです、この巨額の事務作業をどんな事業者に委託するのか、事業者は公募で選ばれますが、国会ではその募集期間についても疑問の声がある。」

"矢上雅義（立憲民主党衆院議員）「オンライン説明会が 6 月 1 日で締切日が 6 月 8 日、しかもあのたった一週間以内で 1 兆 5000 億円規模の企画書を提出するっていうことが普通できますか、企画書や仕様書を事前に知りうる立場にある事業者でなければ、到底、対応は不可能だと思いますけれども。」

島田勘資（経済産業相大臣官房審議官）「法令上求められた十分な期間を確保しているものというふうに考えてございます。」 "

ナレ「事前に情報を知りうる特定の事業者に委託するのではないかという指摘。」

"高橋千鶴子（共産党）「まあ持続化給付金と同じような姿になっちゃうわけですよ。GoTo でも似たような事態になるのではという懸念があるわけですね。」、

赤羽一嘉（国交相）「そうした懸念されるようなことが起きないように責任を持ってやっていくということに尽きるわけでありますが、事務局業務をこれ誰かに丸投げをしてできるというものではないというふうに認識しております。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「いま、これが本当に必要なかと批判を浴びた 1.7 兆円の GoTo キャンペーンですけれども、事務経費が 3000 億円と星さん、巨額ですね。」

星浩「そうですね。」

小川彩佳「これだけかかるものなんですかね。」

星浩「まあ 2 割と言っているんですけども、この持続化給付金の問題と共通していると思うんですけど、霞ヶ関の官僚がこの枠組を頭で考えてね、運営業者を選んで、そこに巨額の事務経費を払うという構図なんですけれども、そもそもこの GoTo キャンペーンにね旅行とか飲食、そういう補助に国が音頭を取る必要があるのかという気がするんですね。今回あの知事さんとか市町村長さんが頑張っているのがよく分かりますよね、で、地域の事情を彼らが一番良く知っていますからね、観光客の誘致とか地域の事情に合わせてすすめばいいのであって、国は金を出すけど口は出さないということに徹すればいいと思うんですけども、ちょっとこれはやりすぎですよ。」

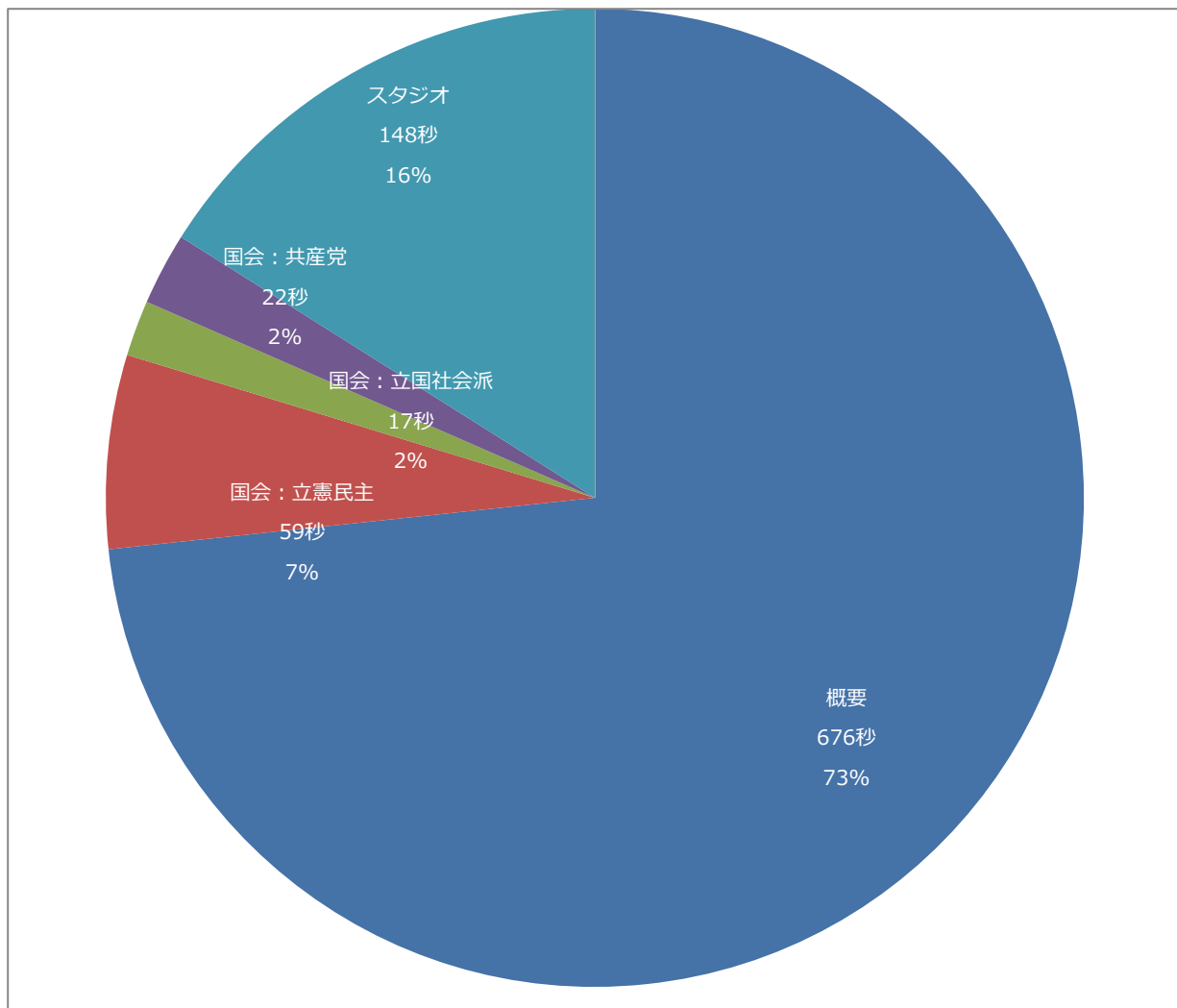
小川彩佳「うーん、一方のあの持続化給付金事業ですけれども一律 10 万円の給付金については市町村が事務を担当して国の負担というのがかなり抑えられている、これに比べると今回その 769 億円というのがこの事業に投入されてこれ全部税金だというふうに考えるとちょっと透明性担保していただきたいなというふうに感じるんです。」

けれども。」

星浩「ここでもね、同じこと言えると思うんですけども、その中小企業の事情をよく知っているのは自治体とか商工会の人なんですね、ですから彼らに任せればいいんですけどもなんかこうわけのわからない運営団体を作ってそこでお金を流していく、とりわけね、この殆ど丸投げ、電通に丸投げということになっているんですけども、実際はこの自治体経由でやっていけばスムーズに行くのに、わざとこういう複雑な手口を使っているということですよ、そしてその協議会というのも実はちょっと怪しいんですけども、電通の関係者の人達がいっぱい入っているんですね。なんでこんなそのわかりにくいことをやるのかなということなんですけれども、野党議員が今、目をつけているのが、この電通がですね、あの女性社員、高橋まつりさんの過労自殺問題ありましてね、経産省からすると、直接電通にその契約しにくいという事情があって、そこでこの隠れ蓑の団体を作ったんじゃないかということでありまして、だとするとですね、非常にこの不明朗な事態ですので、これは徹底した情報開示が必要になってくると思いますね。」

小川彩佳「はい。」

このトピックに当てられた時間は 922 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法上の適切性を判断するのは他の放送日との比較が必要と考える。

・三重県で LGBT 関連の条例の方針：結論→特に問題なし

三重県の LGBT 関連の条例方針について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"鈴木英敬（三重県知事）「カミングアウトの強制、あるいはアウティングというのはその人の人間関係、就労環境、まあそういうものを不安定にし、命を落とす可能性がある。」

ナレ「三重県の鈴木知事は LGBT など性的少数者の差別を禁止する条例の制定を表明しました。性的指向を本人に無断で暴露するアウティングの禁止を都道府県で初めて盛り込む方針です。」 "

このトピックに当てられた時間は 31 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ロシアが核兵器指針を初公開：結論→特に問題なし

ナレーションによって「ロシアが核兵器の使用条件などを定めた国家政策指針を初めて公開しました。自国だけではなく同盟国に対して弾道ミサイルが発射された場合にも賀来で反撃する可能性を明記、ロシア国防省筋は同盟国ベラルーシに隣接するポーランドにアメリカが核兵器を配備する可能性があり、その牽制でもあるとしています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 28 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港と国家安全法：結論→特に問題なし

国家安全法について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"林鄭月娥（香港行政長官）「私と香港政府は今回の立法作業を強く支持する、立法に向けた第二ステップに全面的に協力する。」

ナレ「中国による香港への国家安全法の導入をめぐり香港政府トップの林鄭月娥行政長官は法律制定を指示する考えを示しました。今後制定作業が進められますが、抗議活動がさらに激しくなるおそれがあります。」 "

このトピックに当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・厚労省が学生の臨時採用を各省庁に要請：結論→特に問題なし

山本キャスターによって「新型コロナウイルスの影響で内定を取り消されたり、経済的に困難な状況に陥ったりした学生を支援するため、厚生労働省が明日、各省庁に対し、こうした学生を国の臨時の職員として採用するよう求めることが分かりました。新型コロナウイルスの影響で内定を取り消されたりアルバイトの収入が減ったりした学生を巡っては全国の自治体で経済的な支援策として臨時雇用をする動きが広がっています、厚生労働省は支援をさらに広げるため、各省庁に対し、こうした学生を国の臨時の職員として一時的に採用するよう求めることが関係者への取材で分かりました。学生が収入を得ながら新たな就職活動ができるようにすることが狙いで、明日、首相官邸で行われる会議で提案される見通しです、厚生労働省では既に全国の地方労働局や日本年金機構などであわせて 300 人以上の学生を臨時採用する方針を明らかにしています。新型コロナウイルスの影響を受けた学生の支援のため、厚労省が明日、各省庁に対して国の臨時の職員として採用するよう求めることが分かりました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 86 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・新型コロナウイルスと経済対策

星キャスターはスタジオで「そもそもこの GoTo キャンペーンにね旅行とか飲食、そういう補助に国が音頭を取る必要があるのかという気がするんですね。今回あの知事さんとか市町村長さんが頑張っているのがよく分かりますよね、で、地域の事情を彼らが一番良く知っていますからね、観光客の誘致とか地域の事情に合わせてすすめばいいのであって、国は金は出すけど口は出さないということに徹すればいいと思うんですけども、ちょっとこれはやりすぎですよ。」や「その中小企業の事情をよく知っているのは自治体とか商工会の人なんですよ、ですから彼らに任せればいいんですけどもなんかこうわけのわからない運営団体を作ってそこでお金を流していく、とりわけね、この殆ど丸投げ、電通に丸投げということになっているんですけども、実際はこの自治体経由でやっていけばスムーズに行くのに、わざとこういう複雑な手口を使っているということですよ。」とコメントし、国が口出ししたりスキームを作ることに對して批判していた。

地域や中小企業の実情をよく知っているのは自治体ということ事態には異論はないが、そうであるならば、そもそも国が一旦間に入って、国会で予算を通して金を自治体に配る、ということ自体が壮大な無駄ではなかろうか。最初から自治体が税金を集め、自治体で使うほうが遥かに無駄がないだろう。

また星キャスターは「国は金は出すけど口は出さないに徹すればいい」などと言っているが、そもそもその国の金というのは私達の税金なのだから、私達の税金をどのように使うのかということに対して中央政府は「地方に渡した以上は口は出さないんだ」というのは通用しないだろう。一体、財政民主主義をどのように考えているのだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年6月4日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 倉田徹（立教大学教授、香港政治が専門）</p>		
<p>検証テーマ：香港問題、第二次補正予算案の予備費、麻生財務大臣「国民の民度のレベルが違う」</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝塚にてボーガンで4人殺傷事件 ・東京で新たに25人の感染者 ・密な電車回避 ・香港問題 ・第二次補正予算案の10兆円の予備費 ・全米デモへのトランプ大統領の方針転換 ・藤井聡太七段が最年少タイトル挑戦へ ・麻生財務大臣「国民の民度のレベルが違う」 ・コロナ禍でお中元商戦が様変わり ・スポーツ報道 ・600万回以上再生された看護師の母と再開する姉妹の動画 ・天気予報 ・ 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港問題：結論→特に問題なし <p>小川キャスターの「続いてのニュースに参ります。中国で民主化を求めた学生たちが武力で鎮圧された天安門事件から今日で31年です、」とのコメント、山本キャスターの「香港では毎年こうした大規模な追悼集会が行われてきました。民主派への締め付けが強まる中で今年は初めて集会は禁止となったのですが。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレ「新型コロナウイルスの感染防止のためとして9人以上の集会が禁止されている香港。それでも人々は集まり、声を上げました。」</p> <p>李卓人（市民団体代表）「中国で6月4日を追悼できなくなっても香港にいる我々が声を出しましょう。」</p> <p>ナレ「ここは毎年天安門事件の犠牲者を追悼する集会が行われてきた公園の前です。今年は、香港警察が集会の許可を出さず、公園は封鎖されていました。しかし、市民団体の代表者らはろうそくを片手に公園内へ。」</p> <p>李卓人「我々香港人は全世界に向けて発信しなければいけません。心が折れなければ火は消えません。」</p> <p>ナレ「公園内では大規模な集会と見なされないようか、少人数で固まり、座り込む様子も。それでも追悼式の直前にはこの人だけになっていました。そして現地時間の午後8時から始まった追悼集会。」</p> <p>代表者「全員一分間黙祷。」</p> <p>ナレ「この様子はインターネットで生配信され、SNS上では賛同する人たちがろうそくの写真を次々と投稿しま</p>		

した。香港メディアによると、この追悼集会には一万人以上が参加したということです。"

"一方、北京では。]

濱野祐司(報告)「天安門に近づくにつれて警察の数が増えてきました。通行人が警察に身分証をチェックされています。」

ナレ「中国本土でタブー視される天安門事件、1989年6月4日、北京で民主化を求めた学生が軍によって武力で弾圧され数千人が犠牲になったと言います。事件後指名手配された当時の学生リーダーの1人周鋒鎖さん。31年前よりも中国政府による自由への弾圧が厳しくなっているといます。」

周鋒鎖さん「自由が日に日に狭まっている。」

ナレ「また、反政府デモを禁じる国家安全法の導入が決まっている香港についても危機感を示します。」

周鋒鎖「中国政府は(一国二制度で)50年間変わらないと約束したが(香港返還から)23年既に変わっている。中国は一国位置精度をつくろうとしています。」"

"ナレ「香港の民主活動家の周庭さんも昨日、オンライン上で記者会見を開き、こう訴えました。」

周庭「香港があつという間に中国のようになるのも容易に想像できます。」

ナレ「香港では集会在禁止される中、任天堂スイッチでの集まれどうぶつの森でのデモを呼びかけるなど、民主派は新しい形での活動も模索しています。そうした中、香港の立法会では、中国国歌への侮辱行為を禁じる、国歌条例案の採決が行われ賛成多数で可決成立しました。なぜ、いま中国政府は香港への圧力を一層強めているのでしょうか。」"

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「ここからは香港政治をご専門の立教大学倉田徹教授にお話をお伺いします、どうぞ、よろしくおねがいいたします。」

倉田徹(立教大学教授)「よろしくおねがいします。」"

"小川彩佳「香港で毎年行われていた天安門事件の追悼集会、今年は禁止されていたにもかかわらず、多くの方が集まっていわば強行された形ですけれども、それだけこの追悼集会というのは先生、香港の方々にとって非常に大きな意味を持つものなんですね。」

倉田徹「そうですね、まあ89年、1989年の事件当時から香港の人たちは100万人規模のデモを繰り返しまして、天安門の学生の支援をしてきたわけですが、それがまあ弾圧に終わったあと、中国ではこの事件を一切語ってはならないという状況になったときにですね、一つは中国の民主化の推進のために続けると、もう一つは香港の一国二制度でこそ認められる自由を象徴する集会として続けるというそういう意義があると思うんですね、まあ香港の人にとっては非常にこの6月4日というのは重い日付になるということが言えます。」"

"小川彩佳「この追悼集会は象徴だったその一国二制度ですけれども、これが大きく揺らいでいます、これまでの経緯を山本さんお願いします。」

山本恵里伽「はい、香港では去年から大規模なデモが続いてきました。ただ今年に入って新型コロナウイルス感染拡大によって潮目が変わるんです、感染拡大防止という名目で集会の禁止措置が行われました。更には先月、中国全人代で香港への国家安全法の導入が採択されまして、今日、香港の立法会で国歌条例案が可決されました。」

小川彩佳「次々と香港に対しての締め付けが強化されている印象がありますけれども、中国側、習近平主席側の思惑というのはどういうところにあるんですか。」"

"倉田徹「まあ、これはある種の焦りがあると思うんですけども。」

小川彩佳「焦りですか。」

倉田徹「そうですね、まあ去年発生した巨大なデモがまあコロナのためにですね、大規模なものがないにしてもそれが残した反政府感情というのが収まらない、中々政治情勢が収まらないという中で、このコロナの流行がありまして、中国の国内でもですね、まあ経済、あるいは政治的な面でも非常に政権はダメージを受けているという事ができると思うんですね、で、また、コロナの影響もありまして米中関係というのは非常に悪化をしていますけれども、まあ香港については中国政府の見立てとしては民主派というのはアメリカの影響を受けていて、まあその影響をなんとか排除しないと政権に危機が及ぶと、こういったような焦りだというように思いますね。」

"

"小川彩佳「焦りというのが今の習近平主席のキーワードになっているわけですか。」

倉田徹「そうですね、まあ今回のその国家安全法につきましても加速して実施をするというそういったようなことが全人代常務委員会の報告にもでているんですけども、この加速というのが一つ、最近あの習近平主席、重視しているということですね、まああの中国国内では『総加速師』というような、まあインターネット上のスラングですけども、言葉で習近平主席のことを指すというような事があるようですね、まあこれはあのかつて鄧小平さんがまあ総設計士、改革開放の総設計士と言われたことの振りなんですけれども、まあそれを見ますとやはり中国は非常にいろんなことをスピーディに進めないといけないというまあ習近平さんの危機感というのは非常に強いんだろうと思いますね。」

小川彩佳「うーん、そうした危機感の中でいわば国際社会がコロナの対応に手一杯の時にどさくさ紛れのように全人代で採択されたのが国家安全法なんですけれどもこれどういったものなのか、こちら、国家分裂、政権転覆、外国の干渉、テロ行為を禁止、こうしたもので治安維持のために香港に出先機関を設置することもできる、と。これあの、デモのように声を上げることを禁止するというのは香港の方々が伝統的に享受してきた自由を奪われるということになりますから香港のハートの部分が奪われると思うんですけども、香港の形というのはどうなってしまうのでしょうか。」

倉田徹「まあ非常にこれは懸念されますね。やはりその香港の自由に対する脅威というのは間違いなくありますけれども、問題はやはりそのいま出てきた4つの禁止にしても、あるいは出先機関の行動につきましても、まだ具体的なものがでていないんですね、でまあ本来これ香港でこういうような法律を作る場合ですと法案というのがオープンになりましてそしてまあ香港の議会の中でこういうようなことをするとこういう罪に問われる、というそこがわかるわけなんですけれどもまあ今回に関しても全て北京が決めてしまう、と、で、全人代常務委員会が決めたものを香港はそのまま受け止めなくちゃいけないと、で、それがどう決まるかも今の所わからないというのが一番問題だと思います。」

小川彩佳「分からないというだけでも間違いなく萎縮は生まれますよね。」

倉田徹「そうですね、まあ今日の集会にしましても来年以降できるかどうか分からないということが言われてまして、それもおそらく今年禁止されてもぜひともやりたいという人々を駆り立てているんだと思いますね。」

小川彩佳「そうした中で香港の方たちに今後、打つ手というのは残されているのでしょうか。」

"倉田徹「ええ、まあ少なくともこの国家安全法に関しましては全て北京の方のプロセスということですね、香港でデモを行うですとか、抗議をしてもそれで止めるすべはないんですね。ただまあああの間接的に中国政府に

圧力をかけるという意味で一つには国際社会に対して訴えるというのがおそらく香港の人々の一つの方法になると思います。」

小川彩佳「国際社会の圧力が必要になってくると、星さん、どうぞ覧になりますか。」 "

"星浩「まああの国際社会と言っても、おそらく中国が一番注目しているのはアメリカの出方、ですね、その当のアメリカなんですけれども、このコロナ危機と更には黒人の方の死亡事件がありましてデモが拡大して、アメリカは香港問題に向き合う余裕を失っているんですね、そうした状況をおそらく中国側も見据えてですね、アメリカの足元を見て、じわじわとこれから民主化の動きを抑圧していくということになってくるとと思います。そこで日本なんですけれども日本は今最近、その中国との関係改善が進んでいますのでね。こういうタイミングを捉えて中国に対してちゃんと一国二制度の原則を守るべきだと強く主張していく必要があると思いますね。」

小川彩佳「日本がどう向き合うかというところが問われていますね。倉田先生ここまでです、どうもありがとうございました。」 "

このトピックに当てられた時間は 682 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・第二次補正予算案の予備費：結論→他の放送日との比較が必要

小川キャスターの「先月閣議決定された新型コロナ対策の第二次補正予算案ですがこの中で実に 10 兆円が予備費、つまり使いみちが決まっていないお金です。これだけ巨額の税金が国会のチェックなく使われていいものなんでしょうか。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

安住淳（立憲民主党国対委員長）「白紙委任できない、10 兆円を、安倍総理に、消費税 4%分だからね、それを議会のチェックもしないでは、どうぞ使って下さい、といくらコロナで問題があるからっていいわけないんだ、そんなこと。」

ナレ「野党側が白紙委任できないとして与党側に減額を求めているのが第二次補正予算案に計上された 10 兆円という巨大な予備費です。予備費は予見しがたい予算の不足に充てるため内閣の責任で支出することができる、と憲法に規定されています、しかし、政府の裁量で予算の使い道を定められるため、国会の事前のチェックが聞きにくいと野党は反発しています。最近の予備費の額を見てみるとリーマンショックや東日本大震災のあとで増加しているものここ数年は 1.5 兆円前後で推移しています。しかし今回は一次補正予算案で 1.5 兆円を盛り込んだ上で更に二次補正予算案で 10 兆円を計上しています、これは予算案における国の歳出総額の三分の一です、どうしてここまで膨れ上がったのか麻生財務大臣は一昨日。」

麻生太郎（財務相）「積んだら今度は大きいとか、別の額を出したら小せえとか、何、基準で決めるんだね、補正予算をやると決めてから時間がかかるのはこの前のことではっきりしていますから、まあやっぱりこういった予備費というのは極めて有効な手段のひとつなんだと思っていますので。」

ナレ「改めて補正予算を組むと時間がかかるとの考えを示した、麻生財務大臣、しかし野党は 10 兆円もの予算が国会のチェック無しで使われることは許されないとの立場です。」

"福島みずほ（社民党党首）「10 兆円もの予備費、国会の証人なくして出すのは財政民主主義を踏みにじるものではないですか。」

安倍総理「あの、それは違います。その用途については一般の予備費とは異なり、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急を要する経費に限ることとしているところであります。」 "

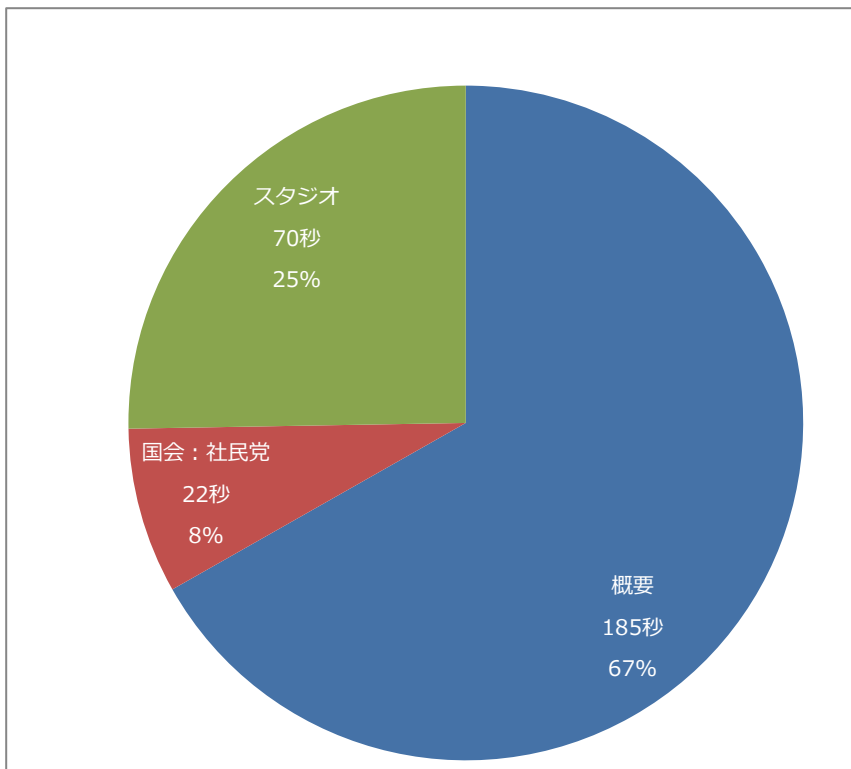
ナレ「安倍総理は緊急を要する経費に限ると強調しました。野党側の指摘を受け、今夜自民党幹部は 10 兆円のうち 5 兆円の使いみちを事前に明らかにする、との考えを示しました。」

VTR を受けて以下に朱記したようなやり取りが繰り返され広がられた。

"小川彩佳「10 兆円というのはあまりに巨額ではありますけれど、この予備費があれば星さん、なにか不測な事態があった時にスピーディに対応できるようになるんじゃないかなと、いうふうに思う方もいらっしゃるんじゃないかなと思うんですが。」

星浩「そうですね、まあスピーディにやろうと思えばいくらでもやり方はあるんですね、国会でそのあまりその細かいことを言わずに地方にどんどん任せるとかそういうことやれば、もっとスピーディにできるんですけども、やっぱりその 10 兆円もの予算をですね、国会のチェック無しで支出させるというのは、これは財政民主主義という、民主主義の根幹に関わりますのでちょっといくらなんでも巨額すぎるなあとは思いますが、加えてですね今回のこの一時予算に GoTo キャンペーンのようなものがありましてね、ちょっと無駄遣いがすぎるんじゃないのという懸念がある中でまた 10 兆円かよ、ということもあるので、ここはやはりもう少し規律を持って進めてもらいたいと思います、まあ今晚になってその 10 兆円の半分くらいはちゃんと目処をつけようということと与野党が折り合えそうだということなので、まああのコロナ対策の予算ですので与野党の合意の上でまとめてもらいたいと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 277 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法上の判断をするには、他の放送日との比較が必要と考えられるものであった。

- ・麻生財務大臣「国民の民度のレベルが違う」：結論→特に問題なし

麻生財務大臣の発言について以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

ナレ「麻生財務大臣は国会で日本の新型コロナウイルスによる死者の数が他の先進国と比べて少ないことに触れ、『国民の民度のレベルが違う』と述べました。」

麻生太郎「なんかお前らだけ、薬持っているのか、とよく電話かかってきた時によく言われたものですけれども、あの、私共としてはこれはそういった人たちの質問にはおたくとはうちの国とは国民の民度のレベルが違うんだと言ってやるとみんな絶句して黙るんですけれども。」

ナレ「さらに麻生大臣は日本の死者数が少なかったのは日本は島国のため連帯意識が強く政府の要請に対して国民が強調してくれた結果だという考えを示しました。また、暴動も起きず、結果としてよかったと述べました。」

このトピックに当てられた時間は 58 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 第二次補正予算案の予備費

国会でのチェックというのは何も予算審議だけではなく、決算審議でも行えるはずであり、また決算審議でチェックを行ったのであれば、翌年度の予算にフィードバックができるはずである。しかし、現状の積み上がった累積債務を見るに、国会が財政をチェックしている、と果たしているのかは非常に疑問を覚える。

また、見方を変えれば野党側は与野党が合意した予算よりも、与党が強行採決した予算や、自分たちが合意しているとは言えない予備費のほうが、決算審議においては忌憚やしがらみのない議論が展開できると言えるのではなかろうか。野党側の決算審議での追及に期待したい。

・ 麻生財務大臣「国民の民度のレベルが違う」

麻生大臣の国会での発言のみが取り上げられた VTR だった。とはいえ、実際には麻生大臣が何も質問をされていないのに一方的に唐突に「国民の民度のレベルが違う」などと発言するとは考えにくく、こうした発言を引き出した何らかの質問があったと考えるのが自然であろう。

何らかの質問を受けての答弁という文脈から切り離して発言を取り上げることは視聴者の理解を妨げたり、誤解を招く恐れがあるといえる。放送法上、直ちに問題のある報道とまでは言えないが、非常に不親切な報道姿勢と言えらる。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年6月5日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 伊藤伸（「構想日本」理事、元内閣府参事官）</p>		
<p>検証テーマ：横田滋さん死去、持続化給付金、第二次補正予算案の予備費、GoTo キャンペーン 麻生財務大臣が「民度のレベルが違う」との発言を釈明</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横田滋さん死去 ・各地で真夏日の暑さの中コロナ対策 ・持続化給付金 ・第二次補正予算案の予備費 ・GoTo キャンペーン ・埼玉県越谷市であおり運転 ・スポーツ報道 ・麻生財務大臣が「民度のレベルが違う」との発言を釈明 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横田滋さん死去：結論→特に問題なし <p>横田滋さんが死去したとのことについて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>横田滋「なんでもいいから早く返してほしいという声が一番高いと思います。」</p> <p>ナレ「1977年、北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの父親、横田滋さん、入院していた川崎市内の病院で今日亡くなりました。87歳でした。妻、早紀江さんとともに40年以上も娘、めぐみさんの救出活動を行ってきた滋さん、1997年、めぐみさんが北朝鮮に拉致された可能性が強まり拉致被害者家族会が結成、滋さんは代表に就任しました。訴える機会を与えてもらえるだけでありがたい、と滋さんは講演依頼を断らず、通算1400回以上講演活動を行ってきました。そして2002年、日朝首脳会談で北朝鮮は初めて拉致を認めました。しかし、めぐみさんは1992年に娘を出産したあと、よく93年に自殺したと北朝鮮側は説明したのです。」</p> <p>"横田滋さん（2002年）「いい結果が出るということを楽しみにしておりました、しかし、結果はあの死亡という残、残念なものでした。」</p> <p>横田早紀江さん（2002年）「まだ生きているということを感じて戦って参ります。ありがとうございます。」</p> <p>ナレ「その後、北朝鮮側から渡されためぐみさんのものとされた遺骨はDNA官邸の結果、別人のものと判明、唯一の進展はモンゴルでめぐみさんの娘キムウンギョンさんの一家と面会したことでした。一昨年4月から入院していたという横田滋さん、妻の早紀江さんはめぐみさんの写真を病室に飾り、めぐみちゃんに会えるまで頑張らなければ、と励まし続け、滋さんもうんうん、とこたえていたということです。今夜、安倍総理は滋さんの訃報に触れ。」</p> <p>安倍総理「滋さんが、早紀江さんとともに、その手で、めぐみさんを抱きしめることができる日が来るようにという思いで総理大臣として未だに実現できなかったこと、断腸の思いでありますし、本当に申し訳ない思いで</p>		

いっぱいであります。」

ナレ「拉致被害者家族会の現在の代表で拉致被害者田口八重子さんの兄の飯塚繁雄さんは。」

飯塚繁雄（田口八重子さんの兄、拉致被害者家族会代表）「何もしてないですよ。なんにもしていない最中にこういう事になったと、総理始め、各担当が認識して、強く認識して、即今後につなげていきたい、フォローしていただきたいと思います。多分あの、他の家族の方も、家族がだんだん減ってきている中で次はうちかなという思いを持っているわけですよ。当然、何らかの手を打つべき、然るべきことなんですけれども。」

ナレ「拉致被害者有本恵子さんの父、有本明弘さんは、

有本明弘さん「家族会はな、あの人（滋さん）が会長になったから全国の人に拉致のことを知ってもらえるようになったんだな、横田さんがおったから、この運動もずっとここまでやってこれたんだ。」

ナレ「拉致被害者の蓮池薫さんは、

蓮池薫さん「北朝鮮に対してなんで親子の再開をここまで阻もうとするのかな、とそういう憤りも湧いてきましたし、同時に日本政府、なんでもっと早く、もっと大胆に動けなかったのかなってまあ思ったり、そういう色々な諸々の思い出悔しさ悲しさ色々混じっておりますね、いま。」

ナレ「早紀江さんはコメントを発表し主人はめぐみに会えることなく力尽き、今は気持ちの整理がつかない状況です、と話しています。」

VTR を受けてスタジオでは小川キャスターによって「こんばんは NEWS23 です、めぐみさんとの再会を果たせぬまま亡くなった滋さん、あまり知られていないことだと国立科学博物館でボランティアをされていて、子どもたちに科学を教えるのが何より大好きだったそんな一面もおありです。めぐみさん帰国の望みを繋いで絶たれ繋いで絶たれ、その繰り返しの途中でどんなに打ちひしがれようとも穏やかさをたたえて戦ってこられた、その滋さんの無念さを思うと、こんなにやりきれないことがあっていいのかと、そんな思いです、どうか安らかに眠りくださいますようお祈り申し上げます。」とのコメントが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 374 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・持続化給付金：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いてお伝えするのは新型コロナ対策の持続化給付金を巡って業務を委託されていた社団法人がほとんどの金額を電通に再委託していたこちらの問題です。」とのコメント、山本キャスターの「再委託などを繰り返すことで実態がわかりづらくなることや無駄遣いにつながるなどが指摘されていますが、実際の給付金の審査業務に携わる女性が私達のインタビューに応じました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"審査業務に携わる女性「本当に胸が痛い。支給する資格があるのに何回も不備で返されてしまう方ってのがいるのはすごく気の毒。」

ナレ「高証言するのは持続化給付金の審査業務に携わる女性です。持続化給付金を巡っては給付遅れや二重振り込みなどトラブルが相次いでいます。女性はその原因について、」

審査業務に携わる女性「毎日の審査基準が何かしら変わっていますので、一日違ったら審査基準が変わることもありますし、2日行かないと浦島太郎になる、やりきれない気持ちにはすごくなるのです。」

ナレ「コロコロ変わる審査の基準、さらにシステムにも不備があると言います。」

審査業務に携わる女性「白色申告の確定申告をしている方であっても、青色申告だという判断をシステムがしてしまった場合に、青色申告の用紙が提出されないと、永遠に貰えないということが今、起きています。」

ナレ「今日も国会では、」

山井和則（「立国社」会派衆院議員）「5月1日に申請したうち5%、9000人はまだ放置されているんですよ、結局委託とか外注重ねる中でこの9000人初日から35一経って払われていないという責任はどこに誰にあるんですか？」

経産省担当者「責任を負うのは、我々との直接契約先であるサービスデザイン協議会になります。」

ナレ「持続化給付金の事業を経産省から769億円で委託されたサービスデザイン推進協議会、この協議会は電通に749億円で再委託し、20億円で中抜きだとの指摘が上がっています、今日の野党ヒアリングで更に電通がその子会社に業務の一部をおよそ645億円で外注していることが分かりました、つまり、およそ104億円で電通の売上ということになります。」

山井和則「電通に仕事を回すためのトンネル法人だったんじゃないか。」

経産省の担当者「そういった認識はしておらなくてですね、あのきちんと、サービスデザイン推進協議会で業務を行っている、と。」

ナレ「設立4年で経産省から14の事業を合わせて1576億円で請け負ってきたサービス協議会、しかし事務所はリモートワーク中としてスタッフは全員不在、公式ホームページもなければ代表の電話番号も公開されていませんでした。代表理事は私達の取材に対して。」

村瀬健介（報告）「推進協議会が今、責任を持ってこれ、国民に対して説明できていると思いますか、これ。」

笠原英一（サービスデザイン推進協議会代表理事）「あの、説明力が不足だったと思います。」

村瀬健介「こういう体制の団体がこの危機の国家政策、最も重要な政策を受けることが適切だと思われませんか。」

笠原英一「見え方がとても悪い見え方になっちゃっていると思います。それはどこから来ているかという初動捜査、それから後は継続的に丁寧なディスクロージャー、広報活動、これがないとね、本当にやってもそれが伝わらない、私がもしキャスターとか新聞記者だったら突っ込みたくなりますよ。なんでウェブサイトもないんだろうと思うくらいです。」

ナレ「情報公開が足りないと認めた代表理事。問題はこれだけではありませんでした。サービス協議会は設立以来法律で義務付けられている決算の公告を一度も行っていなかったのです。」

梶山弘志（経産相）「法律に定められた開示がなされていなかったことは大変遺憾であり、早急な対応を要請をしているところであります。」

ナレ「大臣の指摘を受け、サービス協議会は作ったばかりのホームページに決算を載せました。これがその決算公告。記載されている科目が少なく非常に簡素なものです。サービス協議会と同じ一般社団法人の決算に詳しい税理士は。」

高橋和也（一般社団法人に詳しい税理士）「いや、もう笑いましたね。やっぱりこれぐらいしか開示していないんだなと思って、わからないなという。」

ナレ「高橋さんが特に気になるのが負債の項目、決算には流動負債と固定負債しか書かれていません。」

高橋和也「流動負債がですね、5億になっていますけれども、これは果たして何なのか、どこか業者さんへの支払いですとかどこかから借入れをしているのかとか、全くわからない。」

ナレ「これは別の社団法人の事例、未払金なども記載されています。」

高橋和也「とりあえず出ただけという形かなとは思いますが、情報を発信していこうというかオープンにしていこうという意識が全く感じられない。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「ここからは構想日本、シンクタンク構想日本の理事で内閣府参事官も務めたこともおありになる伊藤伸さんにお話をお伺いしてまいります、どうぞよろしくお願ひいたします。」

伊藤伸「どうぞよろしくお願ひいたします。」 "

"小川彩佳「今回のこの問題、非常に複雑でわかりにくいというふうに思われる方もいらっしゃると思うんですけども、これ、何がズバリ問題なんですか。」

伊藤伸「あの、いま出ていた再委託であったり、外注ということ自体が悪いわけではないと思うんです、これは制度的に認められているものにはなると思うんですが、ただだからといってすべての事業、このような再委託、外注があつていいかと思うとそうではなくて、やはりそれは階層が再委託外注という階層が増えてくるほど間の一般管理費というものがかかってきてしまいますので、やはりそこは非効率になってきてしまう恐れはあるかなと思っております。」

小川彩佳「たしかに今回の構図を確認しますとサービスデザイン推進協議会から電通に再委託、で、さらに電通の子会社に外注されている、こう何層にもなつていてお金の流れがわかりづらくなつていふところがありますけれどもこの構図自体はこれまでも繰り返されてきたことであつて、今回、特異なものというわけではないということですか。」

伊藤伸「少なくともこれまでの事業の中でもこのような構図というのはあつたらうなというふうには思うんですが、ただ、今回特にこの問題が色々この報道で出てくるようになってから情報があの小出しに出てきていることが国民の不信感に繋がる恐れが出ていふかなと思つていまして、ここは特にコロナの問題というのは大きいところ、この持続化給付金は大きな軸になるところになりますので、その意味ではいかに国民に情報をしっかりとさらけ出せるのかというのが重要ではないかなというふうに思つております。」 "

"小川彩佳「うーん、これ、経産相というのも一つポイントとなつてくるのでしょうかね。」

伊藤伸「そうですね、あの、過去の事業の中でもこれは IT 支援の導入補助金といういま出ていふものになりますが、この事業についても同じように今のサービスデザイン推進協議会が受けて、再委託をしていふ、という同じような構図というのがこれ 2017 年度と 18 年度にあつたかと思つていふんですが、ここでも同じようにシステム構築とかコールセンター運営費という一般管理費に当たる部分がかかつていふ、まあいまここに出ていふんですが、これ自体は政府が出していふ行政事業レビューシートというこれは政府が公開をしていふ資料の中に既に出ていふものになつていふんですが、私はこれを見ていふ中で、例えばですけれども、このシステム構築というものは基本的には一般的に初年度だけというふうに考えられるところかなとは思つていふんですが、毎年度こういうふうには、コールセンターの運営費もはいつていふのでどこまで構築費かはわからないんですが、ただこういうふうには毎年度しかも四倍くらいになつていふので、こういうところは少し、私がいふ経産省に聞く立場であればちゃんとこういうところはオープンにしてほしいなと思つていふます。」 "

"小川彩佳「うーん、こちらその IT 導入を支援する事業は今回と同じ構図であつて、これ行政事業レビューシートというものが後々出されてお金の流れがこうしてはつきりすると、ただこれ来年の夏ぐらには今回のことでした

ら出てくるということになるのですか。」

伊藤伸「はい、この行政事業レビューシートは前年度の事業の実績についてこれはすべての省庁がすべての事業について作成をして公表するということがこれはいま閣議決定で決められていますので、今回の持続化給付金については来年の6月とか8月ぐらいに出されることになると思うんですが、ここは一つの考え方として、補正予算というのはとてもスピード感が大切になってきますので、中々決まる前にこういった情報を出すのは難しいなというのはあると思うんですが、例えば補正予算が決まって、一ヶ月二ヶ月した段階でどういう目的でどのようなお金の使い方をしているのかというような同じようなシートを作っていく、ということは考えられるのかなと思ってまして、これは実は私自身内閣府にいた経験があるのですが、東日本大震災の時に同じようにことでチェックシートというようなものを作った経験もありますので、なにかそういうもっもっも情報を出すような仕掛けが必要だと感じています・"

"小川彩佳「うーん、これ速やかにその透明性を示して不信を払拭していただきたいとことですがけれども、仮にこれ、伊藤さんが経産省の担当でいらっしゃるとしたら、このような構図で委託というのをされますか。」

伊藤伸「そうですね、あの、今回はこれは総合評価方式の競争入札という形を取られています、スピードが、時間がない中でやりますので、当然ながらこれは能力を持っている事業者をお願いしたいと担当であれば感じると思うのですが、やはり今までのボードで出ているようにですね、中々本当にこの法人がそういう能力があるのかというのを、どうしても隠れ蓑のような疑念が生じていしまうところがあるなと思いますので私が担当であるならば本当にこれ早いタイミングで多くの事業者に給付をしなければいけないということであれば場合によっては競争入札ではなくて随意契約という、お願いをするということも含めて考えたいなという風に感じます。」

小川彩佳「はあ、とにかく説明を尽くしていただきたいところです、伊藤伸さんにお話をお伺いしました、どうもありがとうございました。」"

このトピックについて当てられた時間は 735 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・第二次補正予算案の予備費：結論→特に問題なし

山本キャスターによって「新型コロナウイルス対策の第二次補正予算案に盛り込まれる 10 兆円の予備費について与野党はおよそ 5 兆円の使いみちを予め示すことで合意しました。使いみちが決まっていない予備費 10 兆円について野党は白紙委任はできないなどとしてきましたが、今朝、与野党の国対委員長が会談し、およそ 5 兆円の使用みちを予め明確にすることで合意しました。雇用維持や生活支援に 1 兆円、中小企業の事業継続に 2 兆円、医療体制強化に 2 兆円を割り当てる方針です。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 41 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・GoTo キャンペーン：結論→特に問題なし

ナレーションによって「新型コロナウイルスの収束後に観光消費などを促す GoTo キャンペーンについて政府は今日 8 日を締切としていた委託先に関する公募の手続きを中止にすることを決めました。総事業費 1 兆 7000 億円で事務の委託費の上限がそのうちの二割に当たるおよそ 3000 億円に上ることから野党から委託費が高すぎると批判が出ていました。」とのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は秒で放送法上は特

に問題は見られなかった。

- ・麻生財務大臣が「民度のレベルが違う」との発言を釈明：結論→特に問題なし

山本キャスターの「新型コロナウイルスによる国内の死者数が諸外国より少ないことについて民度のレベルが違うからと発言した麻生財務大臣が会見で釈明しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

麻生太郎（財務相）「他の国は強制力を持ってできてないんじゃないの、暴動が起きたり外に出たりしてるんだから。だから、そういったような話に比べて我々としては日本人としてもっとお願いモードだけで、これだけで来たというのはもっと誇りに思っているんじゃないのかねえ、っていう話を基本的にはしているのであって。」
ナレ「麻生大臣は民度のレベルが違うと発言したことについて強制力のない外出自粛要請だけで感染拡大を抑えられていることを日本は誇るべきだという見解だったと述べました。そのうえで、他の国を貶めるという話ではないと釈明しました。」

このトピックについて当てられた時間は 60 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・横田滋さん死去

ナレーションによって「1977年、北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの父親、横田滋さん、入院していた川崎市内の病院で今日亡くなりました。87歳でした。妻、早紀江さんとともに40年以上も娘、めぐみさんの救出活動を行ってきた滋さん、1997年、めぐみさんが北朝鮮に拉致された可能性が強まり拉致被害者家族会が結成、滋さんは代表に就任しました。訴える機会を与えてもらえるだけでありがたい、と滋さんは講演依頼を断らず、通算1400回以上講演活動を行ってきました。そして2002年、日朝首脳会談で北朝鮮は初めて拉致を認めました。しかし、めぐみさんは1992年に娘を出産したあと、よく93年に自殺したと北朝鮮側は説明したのです。」と伝えられていたが、拉致被害にあった1977年から1997年までの間は拉致というのはどのように扱われていたのだろうか、非常に気になるところであった。